

# OAの推進に向けた JPCOARの活動について

---

SPARC Japanセミナー2019 特別編  
オープンアクセスの今とこれから  
2019年11月12日 (火)

JPCOAR運営委員会委員長  
江川 和子



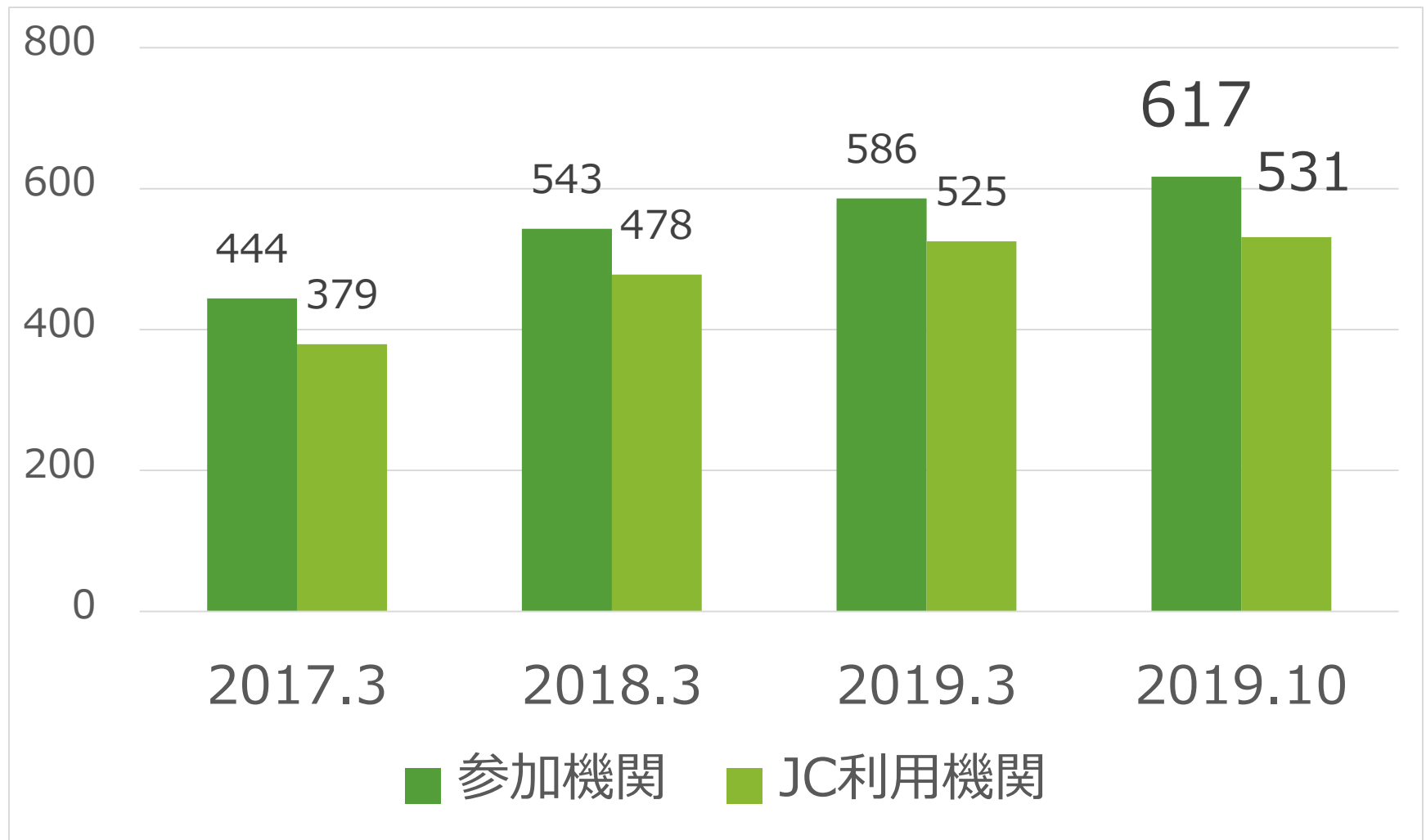
# JPCOARとは

## オープンアクセスリポジトリ推進協会

(JPCOAR : Japan Consortium for Open Access Repositories)

- リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的
- 国公立大学図書館協力委員会と国立情報学研究所の間の連携・協力協定に基づき、2016年7月に設立

# 会員機関数の推移



# 会員機関数

種別	機関数	加入率 (%)	未加入機関数	総数*1	JC利用機関
国立大学	76	88.4	10	86	44
公立大学	65	69.9	28	93	57
私立大学	385	63.8	218	603	350
大学共同利用機関	12	64.7*2)	6	17	11
短期大学	41	12.4	290	331	39
高等専門学校	8	14.0	49	57	8
その他（研究機関等）	30	— *3)	—	—	25
合計	617	48.9	601	1,187	534

\*1) 典拠：平成30年度学校基本調査結果の概要

2019.10.4現在

\*2) 大学共同利用機関数の加入率に、機構本部は含まない（1機構本部参加分を除く）

\*3) その他（研究機関等）は、加入率に含めない

- ・国公立大学全体の加入率：67.3%
- ・機関リポジトリを公開する機関の74%がJC利用機関
- ・会員機関の87%がJAIRO Cloudを利用

# 創立の経緯～2018年度までの活動

- 設立趣意書（2016年4月28日）
  - ・ 機関リポジトリを中心とする様々なコミュニティを統合・再編し、大学図書館全体として活動する新しいコミュニティを設立
- 機関リポジトリ新任担当者研修
- JAIRO Cloudの共同運用
- JPCOARスキーマ（メタデータ規格）の策定、普及
- オープンアクセス方針策定ガイド
- RDM（研究データマネジメント）トレーニングツール
- 統合イノベーション戦略についての見解（2018年8月2日公開）
  - ・ <http://id.nii.ac.jp/1458/00000106/>  
2018年6月15日に閣議決定された『統合イノベーション戦略』に盛り込まれた「第2章 知の源泉(2) オープンサイエンスのためのデータ基盤の整備」に関して、運営委員会としての見解を作成

# JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021年度

---

ビジョン

5つの戦略

戦略にもとづく活動計画・実施担当

# ビジョン

機関リポジトリをめぐる国内外の状況を踏まえ、リポジトリコミュニティとしてのJPCOARは、国内外の関係する団体、コミュニティと連携し、リポジトリによる知の発信システムを構築し、オープンアクセスのより一層の推進を目指す。会員機関のニーズを踏まえ、多様なコンテンツへの対応、コンテンツの価値を高めるリポジトリの機能向上に努めるとともに、研究データにも対応するリポジトリ環境の整備を行っていくことで、オープンサイエンスの推進にも寄与する。

# 5つの戦略

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取り組みを行う。
2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOARのブランド力を高める。



## リポジトリを通じた知の発信システムの構築

### オープンサイエンスへの寄与

1. 研究データ公開・流通

2. コンテンツの流通促進

### オープンアクセスの推進

3. コミュニティ強化



4. 人材育成

### リポジトリコミュニティの強化

5. 協会活動基盤の強化

# 2019年度活動計画

# 1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。

## 担当 研究データ作業部会

- (1) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベーススケーラブルプロジェクトを実施する。
- (2) 新学習管理システム（仮称「学認LMS」）による研究データ管理に関するオンライン講座の試験運用を実施する。
- (3) 若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。

## 2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。

**担当** コンテンツ流通促進作業部会

- (1) JAIRO Cloud開発に資する情報提供を行うとともに、参加機関の利用のサポートをする。
- (2) 現行のSCPJからJPCOARサイトへの移行を行い、オープンアクセスのインフラを整備する。
- (3) コンテンツ収集のために効果的な方法を検討するため、統計分析等によって現状を調査する。
- (4) JPCOARスキーマの普及・維持管理を継続して実施する。

### 3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。

#### 担当 コミュニティ強化・支援作業部会

- (1) 協会HP、Facebook、情報誌CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。
- (2) JAIRO Cloud コミュニティサイトによるサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティ ツールのあり方を整理し、新JAIRO Cloudへの移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。
- (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。
- (4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図るとともに、取組みへの支援策を検討する。

## 4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。

### 担当 人材育成作業部会

- (1) オープンアクセス、オープンサイエンスを推進する人材に求められるスキル抽出を行う。
- (2) 対象者、目的に合わせ、研修体系の再構成を行う。  
※Dspace等からJAIRO Cloudへの移行相談会の開催。  
機関リポジトリ新任担当者研修の実施。

## 5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。

### 担当 運営委員会

- (1) 作業部会間、運営委員会と各作業部会との連絡を密にし、協会の情報収集力、企画力の強化をはかる。
- (2) 事務局員の確保及び継続的な事務局体制の検討を行う。
- (3) 作業部会員の横断的な活動を組織化し、海外の動向調査等、若手、中堅職員のレベルアップをはかり、人的活動基盤を強化する。
- (4) 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での認知度を向上させる。
- (5) COAR Annual Meeting及びCOAR Asia OA Meeting等に会員を派遣し、JPCOARのプレゼンスを高める。
- (6) 国大図協OA委員会、これから委員会、JUSTICE及びSPARC Japanとの連携体制を強化し、文部科学省、内閣府等の政策の動き及びCOAR等の動きへの適切な対応を行う。